

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0472300052	
法人名	社会福祉法人ウエルフェア仙台	
事業所名	仙南ジェロントピア高齢者グループホームリリーハイム	
所在地	宮城県伊具郡丸森町舘矢間山田字市子沢1	
自己評価作成日	平成30年 9月26日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会	
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階	
訪問調査日	平成30年10月24日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

豊かな自然の中で、入居者様が自分のペースで穏やかに生活できるように支援しています。職員間で話し合い、入居者様が、自由に、のんびりと、楽しく、家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごしていただけるように、居心地の良い空間作りに努めています。行事等で、季節感を感じてもらったり、多種のレク活動や、余暇活動の中から、自分がしたい活動を選択し参加して頂いたり、自己決定の尊重にも配慮しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

丸森町の中心部から北東に位置したホームは開設して18年になる。里山に囲まれた木造の建物は古民家風で趣がある。畳敷きの全居室をフローリングに変え、和式の便器を洋式にし、入居者の生活を考慮し自立に向けた快適な住まいに改修した。4月から管理者、職員の一部が交替し管理者は、これまで研修で学んだ知識を活かし入居者の思いや意向に寄り添った支援に努めている。地域交流や入居者の思いに沿った外出など取り組みの必要性を職員は思っており、民生委員からの情報を得ながら、取り組みたいとしている。家族に信頼され気兼ねなく話し合い、共に入居者を支えあう支援に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

2.自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 仙南ジェロントピア高齢者グループホームリリーハイム)「ユニット名 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念がケアに反映されているか振り返り、具体的に日々のケアで何をするのかなど毎日の申し送り時を利用し実践に結び付けるようにしている	入居者の生活にあった理念であり継続とした。申し送り時に確認し、唱和をしている。管理者が研修等で得たことを職員に伝え、入居者、家族の思いを引き出し、入居者に向き合う支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設施設(特養、デイ)への訪問で外部との交流が持てるように働きかけ実践している	地区の敬老会に家族が連れて行く。読み聞かせのボランティアが入ったり、敷地内のデイサービスやショート利用者との交流がある。民生委員から、カフェ、そば打ちの情報があり、地域交流に前向きである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の開催		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を参考にして、ケアの向上に活かしている	定期的開催し、行政の参加がある。身体拘束適正化の委員会の取り組み状況等を報告している。メンバーから、カラオケ、民謡クラブの情報や生卵を食す(サルモネラ菌)ことの助言をもらうなど話し合われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議において、入居情報や待機者の情報を連絡し合っている。町や丸森病院等からの研修案内がある。	認定調査時に行政担当者が来訪し、対象家族と職員が立ち会い状況を話す。認知症カフェの情報や研修会の案内があり、職員の希望に応じて参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営推進会議における、身体拘束廃止委員会や、マニュアルを活用し、日々のケアの中で、どのような行為が、身体拘束にあたるのか、職員間で話し合い、言葉での拘束についてももしないように努めている	法人と合同で研修がある。拘束におけるケアについてアンケートを実施し、言葉、行動の制限などケアの振り返りを行った。本人の状況にあった声掛け、対応など、研修をすることで気づきにつながり、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修等で虐待の防止の意識と理解を深め常にその事を念頭に置き、業務にあたるようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を設け職員の知識の習得に努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に理解、納得が得られるように十分な説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の意見や要望は、日常生活の中で傾聴し聞きだしている。家族様の意見、要望は、アンケート結果や面会時の会話の中から聞きケアに反映させている	面会、通院時に聞くことが多い。靴下を履かせないで、受診時は車に乗り込むまで手伝って欲しいなどがある。家族は気軽に気づいたことを話してくれるので、要望等にはその都度応じている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主に朝、夕の申し送り時に、意見や提案があり、数日間、実施し、様子を見て、ケア等の向上に繋がるのであれば、職員間で周知徹底していくようにしている	少数の職員での話し合いや申し送りノートでは言い分が伝わりにくいとの意見があった。全職員の会議での話し合いで、わだかまりが解消された。資格取得に向けた支援は有給休暇、資格手当が給料に反映される。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考査制度への反映、個人面接等で各職員の意見を聞くことに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や外部の研修への参加を促したり、日々のケアの中で、実践的技術指導を心掛けている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会への参加を推進し、勉強する場を設けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の話を傾聴し、要望には応えられる様に、不安材料は解消するように努め、信頼関係を構築できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取りの時点で、よく話し合い、いつでも気軽に相談できる関係を構築するように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援専門員等と話し合いを進め、必要に応じたサービスを説明させていただいている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共存性を大事にし、出来る事はして頂き、出来ない部分は職員と一緒にいき、その際、感謝の言葉や、ねぎらいの言葉をかけるようにしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様への状態報告を密に行ったり、催事への参加の呼びかけ等行い本人と共に支えていく関係を築くように努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の来訪がある。自宅近辺方面が併設のデイサービス利用日に訪問したり、食材購入は町内のお店に配達して頂いたり、散髪も町内の理容所が定期で来てくれている	ホーム行事(芋煮会)の案内を家族に出し、呼びかけるなどしている。案山子祭りを見に行ったり、遠方の孫、曾孫が会いに来る。家族と大好きな海苔巻きを食べに行くなどしている。時には元同僚の来訪もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、時には、利用者同士の関わり合いを見守ったり、仲立ちをしたりして交流支援をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	希望に応じて退所後の相談にあたっている。併設施設への入所が多く、情報提供や入所後の訪問確認などフォローに努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から思いや意向の把握に努めている。聞き取り出来ない場合は、家族様に聞き取りをしたり、本人本位を念頭におき、検討している	「望みをかなえるプロジェクト」と称し、思いを引き出す工夫をしている。疎遠の娘に会いたい希望を叶え、その後に繋がる様にした。塗り絵の色使いを見て本人の思いを推測し、職員間で要観察、記録しケアに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所申し込みの時より、詳しく聞き取り、出来る限り把握できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中での様子観察と職員間での情報収集、交換、共有で、現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメント結果に基づき、課題分析を行い、自立支援を念頭に置き、本人本位の介護計画となるように関係者間で話し合い、作成している	ケース記録から、意向、問題点を探り、医師、職員等の意見を入れ計画書に反映している。浮腫のある方には足を上げる運動などを入れる。計画書は作成時や状況変化時にカンファレンスを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録への記入や、朝、夕の申し送り時に、口頭での申し送り、申し送りノートを活用しての情報共有を通してケアへの実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様のニーズに可能な限り対応できるように心掛けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族の方に、通院介助や気分転換の為の外出介助等で、協力して頂いている。行事等への参加と協力依頼等呼びかけ、家族と楽しむ場を設けている。芋煮会には、家族、町の職員、民生委員、理髪ボランティアにも参加して頂いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入所前の主治医であり、家族様対応で受診して頂いている。受診時は、バイタル記録の写しを持参。体調不良時は、関係者間で話し合い、適切な受診ができる様にしている	定期通院の付き添いは家族で、職員対応は有料とし、入居中の状態変化の通院は職員対応である。入居者の状態により、耳鼻科、認知症専門医等との連携と緊急の受け入れ体制も整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設看護師に状況や、状態を報告し指示やアドバイスを受けている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、入院中、退院前、退院後と病院関係者との情報交換を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化対応に係る指針」が文書化されており、入所時に、家族に説明し、「事前意思確認書と重度化時対応希望書」を得ている。急変時は施設長、看護師に連絡の上、救急搬送している。看取りは、体制がなく、行っていない	入居時に文書にて説明し、意思確認書をとっている。入院後3週間経過したところで医師、家族と話し合い、ホームで暮らせるかを検討し、その後の話し合いをしている。「看取りに関する考え方は、原則として看取りはしない」と文書になっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	グループホーム会議で対応についての研修を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設施設と合同で実施している	マニュアルがあり、防災機器の取り扱いを全職員に周知している。29年10月以降の合同訓練、ホームの訓練がなされていない。入居者の安全安心な生活の確保をお願いしたい。	種々の災害が多い昨今であり、年2回以上(夜間想定含む)の訓練が求められている。避難方法、職員の動き等の確認を含め、早急に応務していただきたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や人格を尊重しながら、その方にあった話し方や、言葉がけをしている	名前はさん付けである。職員、入居者が全員女性であり、羞恥心が強いので入浴時、排泄後のケアに配慮している。排泄時の個別支援で状況把握をして、本人を尊重した対応が必要と思われる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各自の意思を尊重し、思いを伝えることができるような支援を心掛けるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活ペースを大事に、臨機応変に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々に担当職員を決め、本人の希望に沿った服装や髪型ができるように支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを把握して、嫌いな物には、代替え等で対応している。ホームの畑で収穫した野菜を調理したり、干し柿作り等もしている。また、芋煮会では、各自、得意な分野で、準備に携わっている	食事専任が献立を作り調理をしている。米、食料は、地元の店から週2回届く。入居者の親戚や、畑で収穫した野菜が食卓に乗ることもある。正月等の行事食や手作りのおやつ等を楽しみとしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各入居者様の病気や体調に合わせた支援をしている。また、水分や栄養摂取状況が思わしくない方に対しては必要に応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、洗口液を使用し、口腔状態や本人の能力に応じた口腔ケアを実施して清潔保持に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	下着やパット等各自にあったものを使用し、時間帯により、変えてみたり、排泄間隔を把握し誘導したり、サインを見逃さず誘導する事で、トイレでの排泄に結び付けている	定時、随時誘導し昼夜を問わず全員がトイレで排泄をしている。下肢筋力の低下やお尻に手が回らない人には下着にパッドを使用している。尿意、便意が曖昧な方は、時間を見て誘導するなど個別対応をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンの把握に努めている。飲食物の工夫や、水分補給、運動の働きかけ等、便秘の予防に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	熱いお風呂が好きの方、ぬるいお風呂が好きの方、カラスの行水が好きの方、ゆっくり入られる方、希望に沿った支援をしている。また、浴室の富士山の写真を眺めながら、上機嫌で、歌をうたったりして入浴を楽しんでいる	週2回の入浴で、通院日は入浴日時を変更している。湯温は本人が入る前に調整し、湯の汚れを気にする方には、流しっぱなしにしている。白癬対応は入浴日以外に足浴をし、軟膏を塗布している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や身体状況に応じて、休息したり、心地良い睡眠がとれるように支援している。寝具の調整や室温の調整にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方内容の把握と服薬確認の徹底、症状の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみごとや役割を見出して張りのある生活が送れるように支援している。飽きないように、楽しみ事や役割も考慮し、レパートリーを増やしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ホームの敷地内での散歩が中心になっている。本人の希望で、家族の協力も得て、外出している方もいるが、少数であり、外出出来る利用者様が、限定してしまっている	法人内のデイサービスやショート利用の方に会いに出かけたり、家族付き添いの通院や、墓参りに行くなど個別の外出をしている。入居者の希望に応じた外出を予定したり町内の商店に買い物に行くなど、外出の機会を増やそうと職員は努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人管理が困難な方が、ほとんどであり、職員が管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に沿えるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事に合わせたレイアウトを心掛けている。ゆったりと過ごせる居場所作りを心掛けている	ホールの天井は高く、陽当りも良くゆったりとしている。定時にテラスの窓を開け空気の入れ替えをしている。入居者と職員が掃除をし、きれいで清潔感のあるホールは、ハロウインの飾り物が季節を感じさせる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの落ち着く空間があり、出来る限りその空間を維持できるように工夫して対応している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご本人の希望を取り入れて、家族様とご本人様が協力してレイアウト等を考え、居心地良く過ごせるお部屋にして頂いている。混乱の要因になるものに関しては家族様と話し合い改善に努めている	フローリングの居室には、ベッド、ヒーター、押入れが備わっている。衣装ケース、ハンガー掛けにレースをかけて衝立のようになり、写真、好きな本を持ち込むなど、家族と共に居室を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備をして入居者様が安全で、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している		